

団体名	倉沢里山を愛する会
代表者名	田村はる子
連絡方法	事務局 田村はる子 TEL:042-592-5859 E-mail:kurasawasatoyama@gmail.com
団体案内 (目的・趣旨)	日野市百草の倉沢地域で一帯の里山的な景観を永く残し、市民の手でエコ循環を実践しながら、緑地の維持・管理を通じて雑木林や農地の緑に親しみ、同時に会員並びに地域のコミュニケーションを深めていくことを目的として、2000年(平成12年)から活動。
設立年	2000年
主な活動内容	1.下草刈り、落ち葉掃き、樹木の手入れ等、雑木林を中心とする緑地の基本的・日常的な維持・管理作業 2.里山内の市民農園(アリスの丘ファーム1・2・3)の運営・管理及び雑木林の腐葉土をはじめ、おから、牛糞、馬糞等地域内でのエコ循環の実践 3.里山内の希少植物の保護育成・調査 4.会の活動の地域住民への広報、参加の呼びかけ 5.百草・倉沢地区の里山全体の保全のための市民や行政への働きかけ 6.他の市民団体との情報並びに意見交換及び協働活動等 7.外部の諸団体・学校等からの見学・体験参加等、出前授業の受け入れ 8.上記活動を通じて、ボランティア参加市民の交流・交歓のためのイベントの実施、コミュニケーションの提供、高齢層の社会参加機会の提供 (定例活動後は、ランチを通じて交流を深めている。)
主なフィールド	日野市百草の倉沢地区の公有緑地(数か所)を拠点として活動
活動日	月に2回から4回
会員数	家族単位で120家族、登録会員200名
募集	会の趣旨に賛同して下さる方なら、どなたでも何時からでも参加できます。
その他	
団体の課題 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 人員不足 <input checked="" type="checkbox"/> 会員の高齢化 <input type="checkbox"/> 活動資金不足 <input type="checkbox"/> 団体の周知 <input type="checkbox"/> その他(                                      )

(設立の経緯)

2000年5月、約100名が参加して倉沢里山散策会を実施。民有緑地を散策・見学し、奇跡的に残されている豊かな自然の状況とその貴重さを改めて強く認識する機会となった。これをきっかけとして、以後、数名の有志にて、雑木林の下草刈り、野草の保護、落ち葉掃き等の活動を積み上げた。1年間の活動実績を踏まえ、2001年5月、活動参加者に加えて活動への理解・支援者を募り「倉沢里山を愛する会」(任意団体)を組織し、現在に至る。最近の活動の参加数は、コンスタントに40名以上にも達している。本活動は、地元地権者のひとりが、日野市内に残された最後の里山として、また都心に最も近い里山として極めて貴重な存在となっている里山が、相続によって乱開発されてしまうことを何とか防ぎたい、との思いから地域住民に呼びかけ、地権者と市民、さらに行政の3者によるパートナーシップを担ったもので、あまり例を見ない新しい形の運動と言える。2001年に実際に発生した相続にあたり、地権者(相続人)の寄付等と市民ボランティア団体の緑地管理支援により、里山がほとんど姿を変えずに残されるという極めて大きな成果を実現することに繋がった。本会の存在と活動の実績が、この緑地公共化のための不可欠の前提条件となった。

(本会の意義)

本会の事業目的は、近隣の市民による里山の緑地保全のための活動であるが、単なる労働奉仕的な側面だけでなく、更にイベントの都度、昼食を食べながら交流をする場を作るなど、市民による緑地保全や農作業を通じて地域住民相互の新しいコミュニケーションの場を提供しており、高齢化社会の進展に合わせ、地域の新たな社会参加の場としての意義も担っている。一方、学生や若い層の参加もあり、世代を超えたコミュニケーションができる貴重な機会も提供しており、今後会員を拡大していく中で、こうした高齢者の積極的な社会参加と同時に、若い層にも参加を呼び掛けて、より幅の広い市民活動として展開していきたい。

自由記載

